

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益・特別法人用)  
【対象決算年度：令和3年度】

1 団体の概要

団体名 (所在地)	公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会 (長野市若里7丁目1番5号)			代表者	理事長 竹重 王仁	
設立根拠	整備法	設立年	平成元年10月	県所管部局 (課)	健康福祉部 (医療政策課)	
設立の沿革	設立目的(寄付行為・定款上)					
H1 (財)長野県腎バンク設立 H6 (財)長野県腎バンク・アイバンク協会 H10 (財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会 H22 公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会に組織・名称変更	眼球提供者の登録及び角膜のあっ旋を行い、併せて広く臓器移植に関する知識の普及・啓発を行う。 具体的な事業内容 ・眼球提供者の登録管理 ・角膜移植術に必要な角膜あっ旋 ・角膜移植に係る感染症の検査 ・臓器移植に関する知識の普及・啓発 事業執行状況を示す主な指標 ○眼球提供者新規登録件数 R1:546人 R2:113人 R3:103人 ○献眼者 R1:16人 R2:10人 R3:7人 ○角膜あっ旋数 R1:28件 R2:16件 R3:19件					
基本財産 (円)	260,000,000	うち県の 出捐額 (円)	40,000,000	県出捐 率 (%)	15.4%	主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%) ライオンズ 151,000,000 (58.1%) 民間企業 41,594,000 (16.0%)

\* 役員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は令和3年度当初現在

役員数	年 度		H30	H31(R1)	R2	R3	
	役員数	常 勤	うち県職員	1	1	1	1
非 常 勤			16	16	16	16	
職員数	常 勤	うち県職員	1	1	1	1	
		非 常 勤	1	1	1	1	
常勤職員計			2	2	2	2	
非常勤職員計			17	17	17	17	
県職員計(非常勤役員除く)			0	0	0	0	
役員平均年齢	68	役員平均年収(千円)	3,900	職員平均年齢	36	職員の平均年収(千円)	1,896

\* 次表は令和3年度の状況で、( )内は令和2年度

収益等状況	令和3年度		令和2年度		費 受 入 状 況	県	
	金額	(千円)	金額	(千円)		金額	(千円)
経常収益(A)	10,574	(10,864)	補助金	5,154	(5,150)		
経常費用(B)	12,312	(12,188)	事業費	2,577	(2,575)		
経常損益(A)-(B)	△1,738	(△1,324)	運営費	2,577	(2,575)		
当期損益	△1,738	(△1,324)	交付金	0	(0)		
財務・資産関係指標	公益事業比率	64.2 (69.1)	正味財産比率	99.9 (99.9)	負担金	0	(0)
	経常比率	85.9 (89.1)	流動比率	2,195.8 (3,764.6)	委託料	0	(0)
	人件費比率	63.3 (63.4)	固定比率	97.7 (97.1)	貸付金	0	(0)
	管理費比率	35.8 (30.9)	固定長期適合率	97.7 (97.1)	出捐金	0	(0)
	事業支出伸び率	1.0 (△9.8)	借入金依存率	0.0 (0.0)	損失補償年度末残高	0	(0)
	補助金等比率	49.5 (47.5)			人件費関係費用(再掲)	5,154	(5,150)

民間(NPO含む)との競合状況

献眼あっ旋業は厚生労働大臣が認可した事業であり、県内では当協会のみがこの事業を行っている。

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針	協会の事業推進に対して積極的に支援する。		
改革基本方針		実 施 状 況	
実施年月	改革基本方針	実施年月	実施状況
H16/4	協会職員の人件費の補助金化	H16/4	職員2名の人件費相当の補助金化
H16/4	事業運営のあり方検討	H16/4	自主財源の確保(募金箱)
H17/4	普及啓発事業への人的支援	H19/4	非常勤職員1名減
		H21/4	角膜あっ旋手数料の引上げ(90千円→100千円)
		H24/4	角膜あっ旋手数料の引上げ(100千円→150千円)
		H26/12	会計規程等の見直し

経営計画等の策定状況

- ・脆弱な組織体制、財政運営を余儀なくされているが、理事会、評議員会において今後の経営の健全化について検討している。
- ・献眼登録者、献眼者の増に向けての施策の実施。

情報公開の取組状況

- ・当協会のホームページを活用し、業務内容や事業成果、決算状況等の財務内容を掲載し、情報公開に努めている。
- ・個人情報の管理に留意している。

監査等結果

- ・平成27年度以降、年2回の監査を実施。
- ・令和3年度に係る監査は、令和3年10月29日に上半期分の会計帳簿について、令和4年4月27日に令和3年度1年分の計算書類、その他附属明細書及び事業報告並びに財産目録等について実施し、全てに渡り適正に処理されている旨の報告を受けている。

団体の課題等

〔団体記載欄〕	〔県記載欄〕
○献眼登録者、献眼者が減少の傾向にあることから、臓器移植に関する知識の啓発、普及活動の一層の推進を図る必要がある。 ○眼球搬送箱に備え付ける薬剤価格等の高騰及び新たに必要となっているPCR検査に係る費用等、角膜移植に係る経費の増加に対応するため、角膜あっせん手数料の改定について検討を要する。	協会が実施している角膜のあっ旋、臓器移植の普及啓発は、臓器不全に苦しむ方々を救うものであり、より一層の活動の活性化を期待する。

【財務の状況】（公益・特別法人用）

団体名：（公財）長野県アイバンク・臓器移植推進協議会

① 正味財産増減計算書

（単位：千円）

		平成31年（令和元年）度	令和2年度	令和3年度
一般正味財産増減の部	経常増減の部			
	経常収益(A)	13,564	10,864	10,574
	うち基本財産運用益	2,546	1,863	1,152
	うち受取会費	222	142	134
	うち事業収益	4,200	2,400	2,850
	うち受取補助金等	5,282	5,160	5,233
	うち受取国庫補助金			
	うち受取県補助金	5,194	5,150	5,154
	うち受取市町村補助金			
	経常費用(B)	13,514	12,188	12,312
	うち事業費	9,107	8,427	7,903
	うち公益事業費	9,107	8,427	7,903
	うち給料手当	5,052	5,071	5,136
	うち管理費	4,407	3,760	4,409
	うち役員報酬	1,500	1,500	1,500
うち給料手当	1,300	1,156	1,156	
経常増減（損益）額(C)=(A)-(B)	50	△ 1,324	△ 1,738	
経常外増減の部				
経常外収益(D)				
経常外費用(E)				
経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
一般正味財産増減（当期損益）額(G)=(C)+(F)	50	△ 1,324	△ 1,738	
一般正味財産期首残高(H)	286,158	286,208	284,884	
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)	286,208	284,884	283,146	
指定正味財産	受取補助金等			
	うち受取国庫補助金			
	うち受取地方公共団体補助金			
	当期指定正味財産増減額(J)	0	0	0
	指定正味財産期首残高(K)		0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0	
当期正味財産増減額(M)=(G)+(J)	50	△ 1,324	△ 1,738	
正味財産期首残高(N)	286,158	286,208	284,884	
正味財産期末残高(O)=(M)+(N)	286,208	284,884	283,146	

② 貸借対照表

		平成31年（令和元年）度	令和2年度	令和3年度
資産	流動資産	9,890	8,395	6,741
	うち現金預金	9,890	8,323	6,333
	固定資産	276,712	276,712	276,712
	基本財産	260,000	260,000	260,000
	うち土地			
	うち投資有価証券	259,660	259,585	259,585
	特定財産	16,541	16,541	16,541
	うち退職給与引当資産			
	うち減価償却引当資産	1,541	1,541	1,541
	その他の固定資産	171	171	171
資産合計	286,602	285,107	283,453	
負債	流動負債	394	223	307
	うち短期借入金			
	うち未払金	293	121	204
	固定負債			
	うち長期借入金			
うち退職給与引当金				
負債合計	394	223	307	
正味財産	指定正味財産			
	うち基本財産への充当額			
	うち特定資産への充当額			
	一般正味財産	286,208	284,884	283,146
	うち基本財産への充当額	260,000	260,000	260,000
うち特定資産への充当額				
正味財産合計	286,208	284,884	283,146	
負債及び正味財産合計	286,602	285,107	283,453	